

# ぐるっと東北

## 母校を たずねる

# 書き始めたネタ帳 29冊目

## お笑い芸人 村民代表南川さん =2011年度卒

### 岩手高 ③

村民代表南川(本名・皆川泰亮)さん(24)は2011年度卒。17年にデビューした期待の若手お笑い芸人です。昨夏のバラエティ番組「ぐるぐるナインティナイン・おもしろ荘」(日本テレビ系)で強烈な印象を残しました。岩手高校時代を「プロになるつもりはなかった」と振り返りますが、生活の中心は、やはりお笑いだったようです。

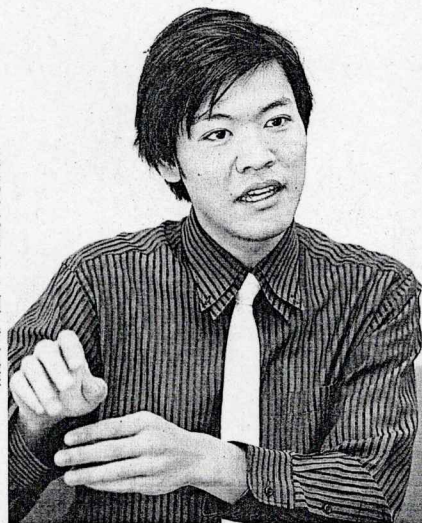
【馬淵晶子】

岩手中から内部進学した17人だけのクラスで、高校入学時も「4年目」という感覚です。唯一新たに始めたラグビー部は4カ月で辞め、中学から入部していた囲碁将棋部に戻りました。

芸名の「村民」は、僕が滝沢村(当時)出身だったので中学からずっと定着していたあだ名です。お笑いは小学生の時から好きで「爆笑オンエアバトル」や「エンタの神様」を見ていて、「ラーメンズ」さんなどに憧れていました。

2年の夏休み、高校生お笑い選手権「ハイスクールマンザイン」の岩手予選に出たいと思いい、席が近い順に声を掛けるところ、14人目でOKをもらいました。

「Rーぐらんぷり」に出ました。将棋の東京遠征の自由日と重なって、一将棋あるある「ネタで1回戦を通過しました。しかし、直前に決まった2回戦、受験の手伝いをする日で、当日朝、担当の先生に謝りに行くと、苦笑いしながら応援してくれました。それが、芸人になるきっかけの一つだったと思っています。



東京都千代田区、山下浩一撮影

自由のびのびやらせてくれるけど、必要な時には全力で支えてくれる。先生や友人ら周囲の人々に恵まれ、本当によかった高校時代です。女子生徒がいないこと以外は……。

大学入学直後、英語の授業が終わわり、女子学生に声をかけられた時は「大学ってこういうところか」とときめきました。でも、事情がちよっと違いました。高校の和田健一郎副校長のご令嬢だったので「岩手高校」という動物園から来ましたという「悪口」を自己紹介で言ったからでしょう。習日に早速、担任だった先生から「どうも、飼育員です。元気ですか」というメールが届きました。

お笑いネタをやる機会を増やす目的で、大学の落語研究会の設立に加りました。高校に公演のチラシを持って行くこと、和田先生が書いた創作落語の台本を渡され、初めて

そんみんだいひょうみなみかわ 1994年生まれ、滝沢村(現在、滝沢市)出身。岩手大人文社会科学部卒業。2017年9月から大手芸能事務所サンミュージック所属。日本テレビ系「ぐるぐるナインティナイン・おもしろ荘」「ウチのガヤがすみません!」や岩手朝日テレビ「いいコト!」などに出演。

### 卒業生「私の思い出」募集

岩手高卒業生のみなさんの「私の思い出」を募集します。300字程度で学校生活や恩師、友人との思い出、またその後の人生に与えた影響などを、氏名、生年月日、職業、電話番号、あればメールアドレスを明記のうえ、〒100-8051、毎日新聞地方部「母校」係(住所不要)へ。メールの場合はshuto@mainichi.co.jpへ。いただいた「思い出」は紙面や、毎日新聞ニュースサイトで紹介することがあります。

落語が好きなんだと知りまし、も幸せに過ごせています。それが面白くて、やったらめちゃくちゃ受けました。思い出したネタをメモするミニノートは29冊目です。高岩人になると決めたのは就職活動の時です。一度は企業に勤めましたが、11カ月で辞め、オーディションで現在の事務所所属することができました。不安定な状況ではありましたが、今のごころはとて

### 創立者は政治家、実業家

岩手高創立者の三田義正は政治家、実業家でもあった。1861年、盛岡藩士の長男として生まれ、県議や貴族院議員を務めた。94年に三田火薬販売所(現三田商店)を設立し、事業を拡大していった。

三田商店のホームページによると、1910年の盛岡大洪水の後に森林事業を始め、中津川などの流域に沿って荒廃地を買った。そして、三田は



岩手高校に建立された創立者の三田義正像(盛岡市長田町で)

山小屋に泊まり込み、増殖林をしたという。26年には地域社会に貢献する人材育成を目指し、岩手高の前身の旧制岩手中学校を創立した。

一方、盛岡の市街化の基礎づくりにも尽力した。26年、三田らが南部家所有の田畑だった土地を払い受け、大規模開発に着手、現在の繁華街である大通、菜園地区の礎となった。35年に幹線道路が完成し、新市街の起爆剤となるよう「大通映画劇場」を開館させた。その後、映画館の新設が相次ぎ、「映画館通り」となった。

【滝沢修】(毎週金曜日に掲載)